

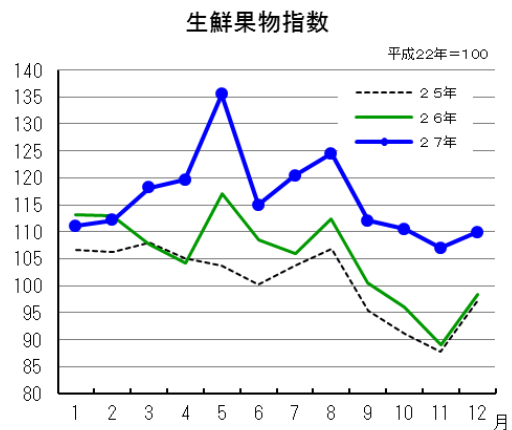
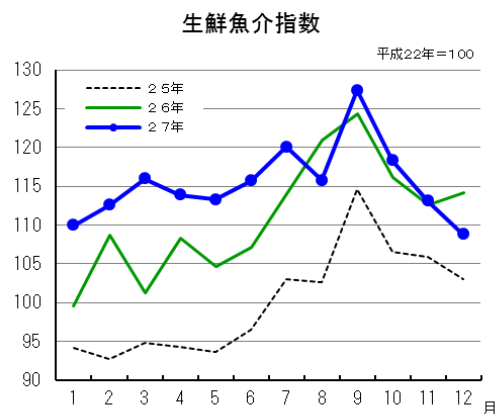
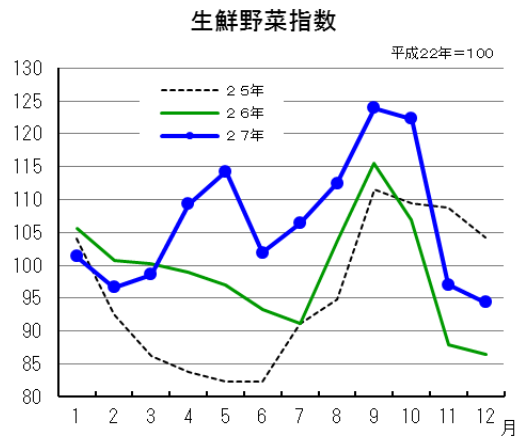
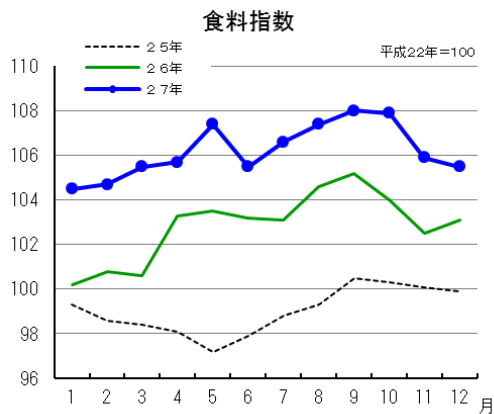
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は106.2となり、前年に比べ3.3%の上昇となった。

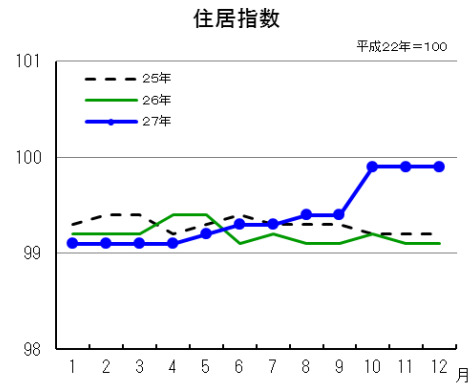
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が4.0%の上昇、生鮮野菜が7.7%の上昇、生鮮果物が10.3%の上昇となり、生鮮食品全体では7.1%の上昇となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は0.4%の下落、魚介類は3.6%の上昇、肉類は5.7%の上昇、乳卵類は2.0%の上昇、野菜・海藻は5.7%の上昇、果物は10.9%の上昇、油脂・調味料は1.4%の上昇、菓子類は5.9%の上昇、調理食品は0.5%の下落、飲料は2.3%の上昇、酒類は0.4%の上昇、外食は3.3%の上昇となった。



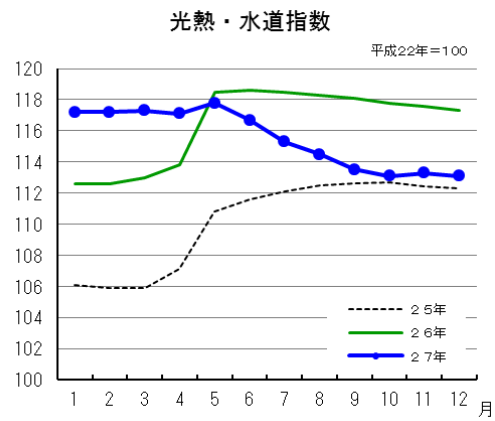
(2) 住居

年平均指数は 99.4 となり、前年に比べ 0.2% の上昇となった。内訳をみると、家賃は 0.1% の下落、設備修繕・維持は 3.3% の上昇となった。



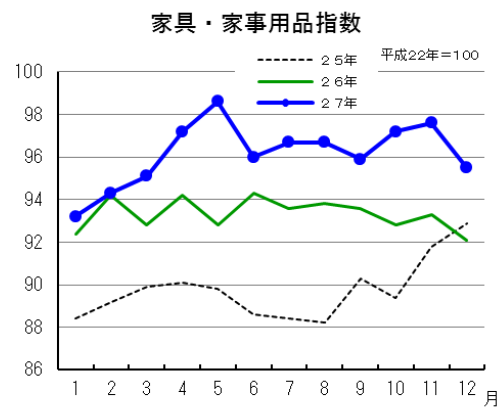
(3) 光熱・水道

年平均指数は 115.5 となり、前年に比べ 0.8% の下落となった。内訳をみると、電気代は 0.4% の下落、ガス代は 0.2% の下落、他の光熱は 19.5% の下落、上下水道料は 0.9% の上昇となった。



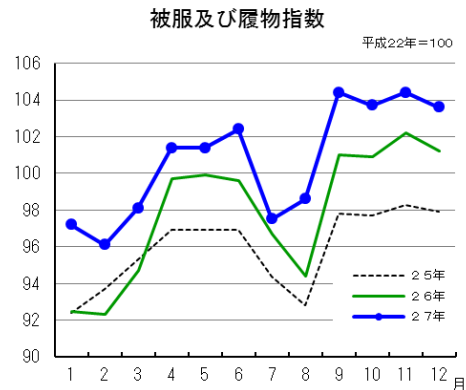
(4) 家具・家事用品

年平均指数は 96.2 となり、前年に比べ 3.0% の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 0.3% の上昇、室内装備品は 0.8% の下落、寝具類は 7.5% の上昇、家事雑貨は 7.4% の上昇、家事用消耗品は 4.2% の上昇、家事サービスは前年と同水準となった。



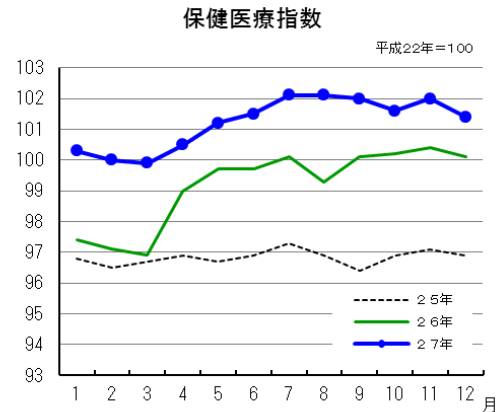
(5) 被服及び履物

年平均指数は100.7となり、前年に比べ2.9%の上昇となった。内訳をみると、衣料は5.0%の上昇、シャツ・セーター・下着類は3.2%の上昇、履物類は7.0%の下落、他の被服類は5.3%の上昇、被服関連サービスは1.4%の上昇となった。



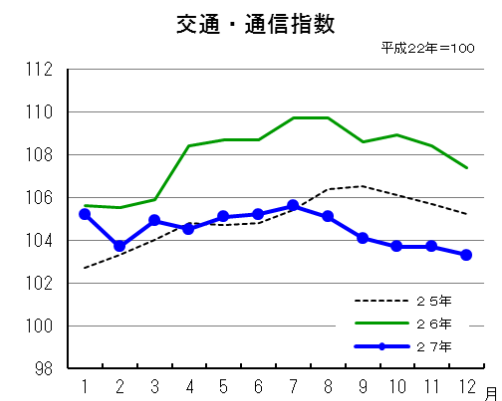
(6) 保健医療

年平均指数は101.2となり、前年に比べ2.1%の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は3.2%の上昇、保健医療用品・器具は3.3%の上昇、保健医療サービスは0.7%の上昇となった。



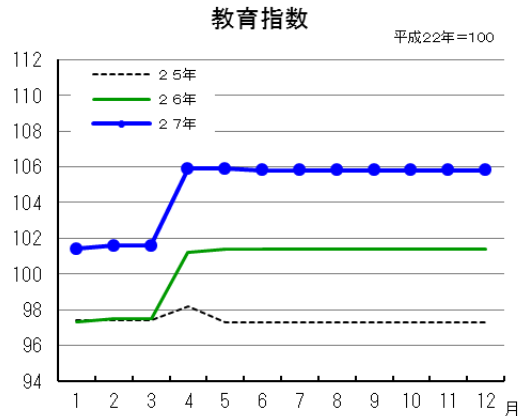
(7) 交通・通信

年平均指数は104.5となり、前年に比べ3.2%の下落となった。内訳をみると、交通は3.2%の上昇、自動車等関係費は5.8%の下落、通信は0.4%の上昇となった。



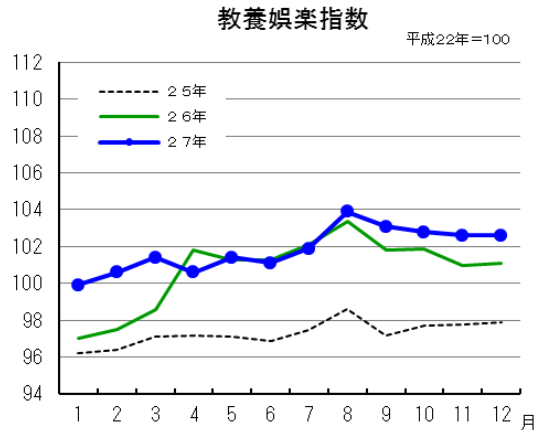
(8) 教育

年平均指数は104.8となり、前年に比べ4.3%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は5.5%の上昇、教科書・学習参考教材は1.2%の上昇、補習教育は3.1%の上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は101.8となり、前年に比べ1.1%の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は0.3%の上昇、教養娯楽用品は1.0%の上昇、書籍・他の印刷物は1.3%の上昇、教養娯楽サービスは1.2%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は110.2となり、前年に比べ1.6%の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは0.6%の上昇、理美容用品は4.4%の上昇、身の回り用品は3.7%の上昇、たばこは1.0%の上昇、他の諸雑費は0.1%の上昇となった。

